

妻柱丸パイプ仕様

間口
7.2m

主な特徴

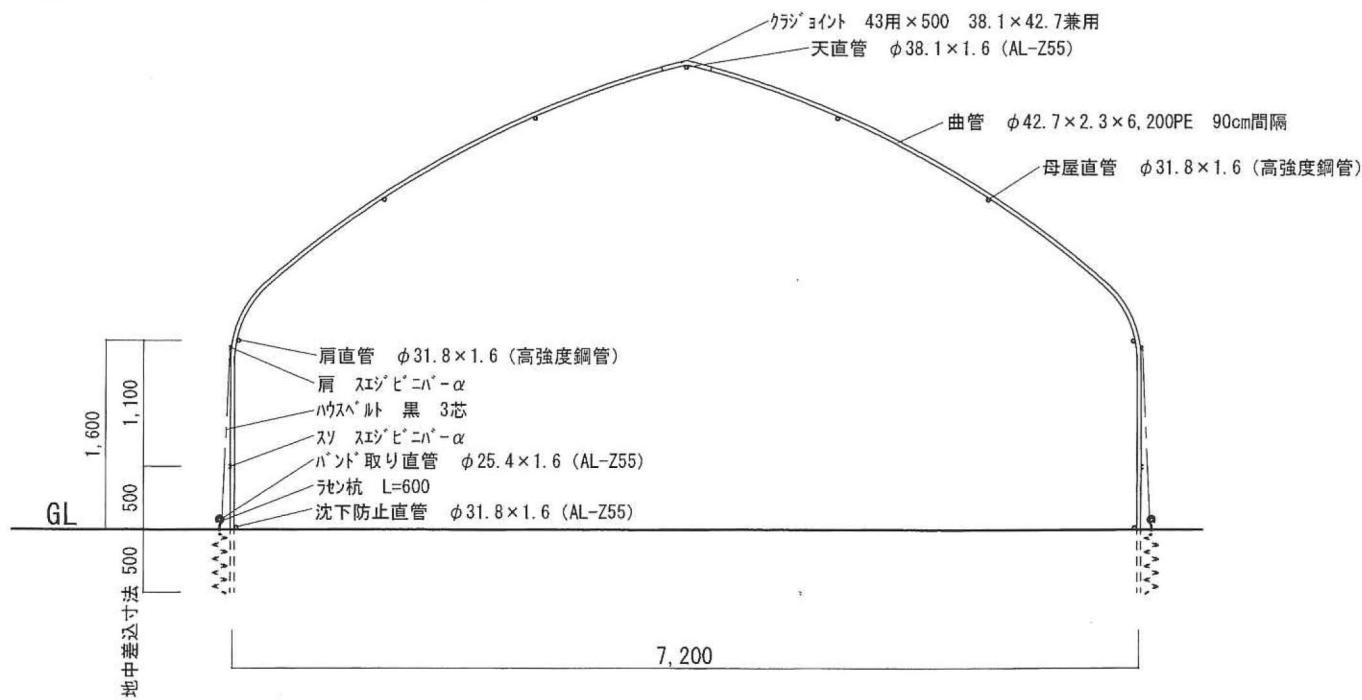
ハウス資材 間口7.2m×30m×1棟

豪雪地帯
仕様

- ①アーチパイプ⇒42.7×2.3(一般構造鋼管)=90cmピッチ
- ②天パイプ⇒38.1×1.6(AL-Z55)
母屋パイプ⇒31.8×1.6(高強度鋼管)
- ③沈下防止パイプ⇒31.8×1.6(AL-Z55)
バンド取り⇒25.4×1.6(AL-Z55)
- ④妻柱パイプ⇒31.8×1.6(高強度鋼管)
- ⑤入口ドア両側・両開き⇒幅1200×高さ2000
- ⑥側面用巻上機付⇒巻上パイプ22.2×1.2(AL-Z55)
- ⑦アンカー⇒(ラセン杭=1.5mピッチ)
- ⑧被覆材⇒流滴剤練り込みPOフィルム(厚さ0.1mm)保温強化タイプ

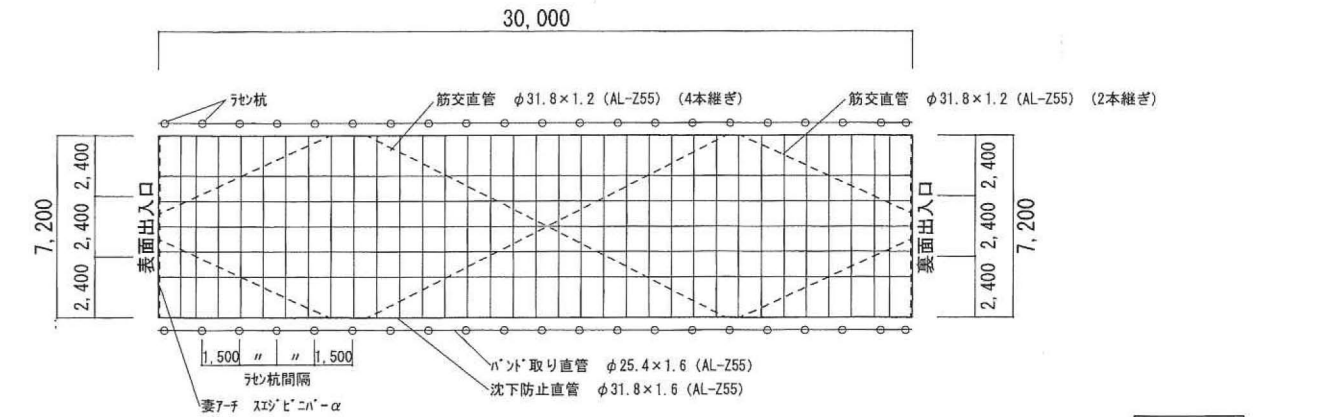
※妻柱を角パイプに変更する事も可能です。

妻柱パイプ⇒□50×50×1.6(一般角形鋼管)・ツブシ加工付



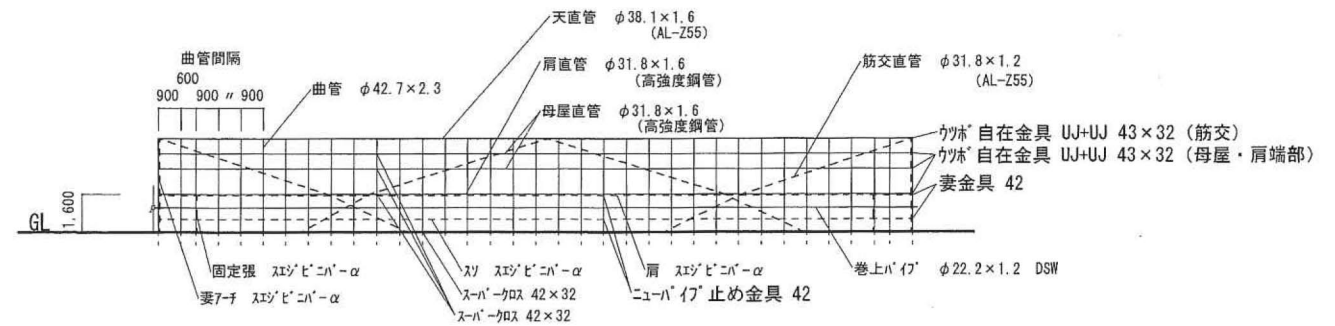
※ 肩部・スリ部のスイズビニール-αは、固定金具(ニューハイト止め金具)を曲管90cm間隔にて取付固定します。

断面図



※ 筋交直管 両妻側は2本継ぎ、中側は4本継ぎとします。

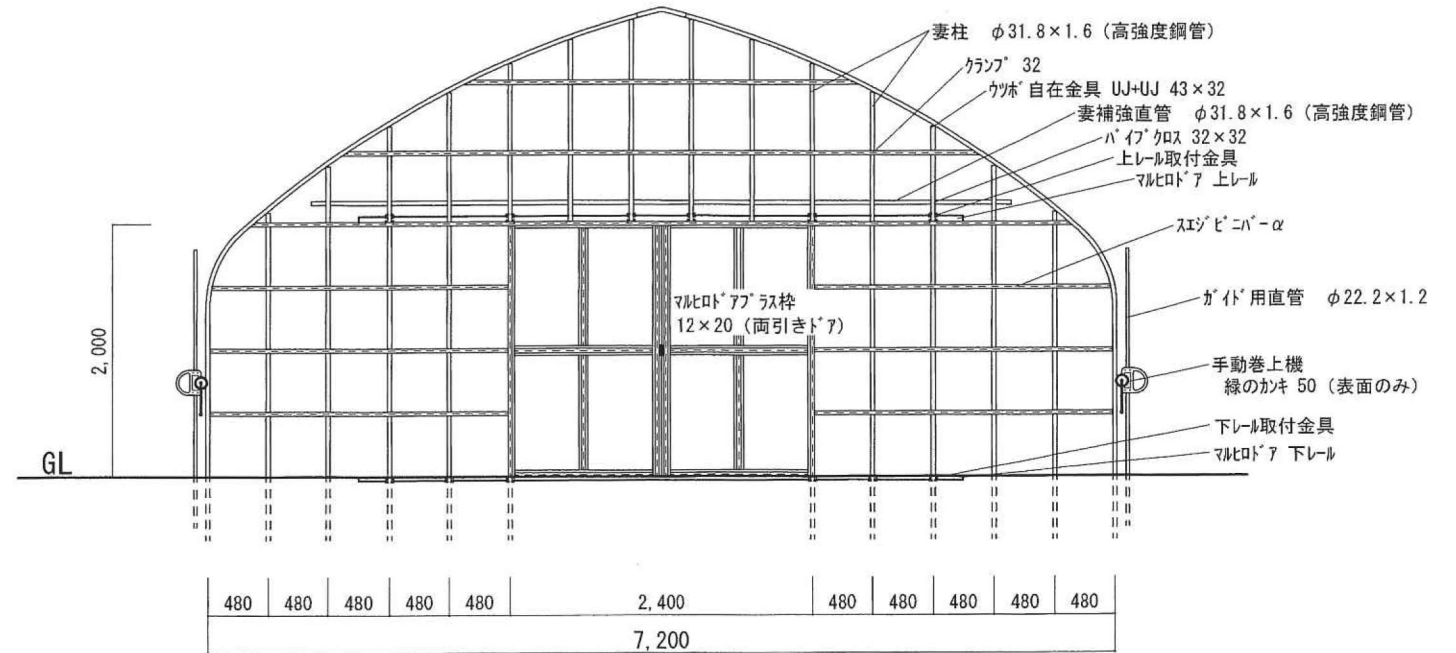
平面図



※ 筋交直管の固定方法は、4種くもり鉄線 #10 (線径3.2mm) にて絡み固定します。

※ 筋交直管の配置及び取付位置は現場状況に合わせる為、参考図とします。

側面図



※ 妻面のスイズビニール-αは、固定金具(クラフ)にて取付固定します。

※ 妻面の組立は、表面・裏面共、同形の組立とします。

妻面図